

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願2003-072026
起案日	平成20年 2月22日
特許庁審査官	坂東 大五郎 3241 5C00
特許出願人代理人	別役 重尚 様
適用条文	第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出してください。

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

請求項：1～6、9～13

引用文献：1～3

備考：

引用文献1には、本願発明の前提となる構成である、アクセスポイント、コンピュータ、ディスプレイからなる電子会議システムが記載されている。特に、図1Aを参照。

そして、一般に、同時に使用する複数の機器の電源を連動して制御することは、引用文献2の0023段落等に記載のように周知であるから、引用文献1に記載された発明において、ディスプレイ、アクセスポイント、コンピュータの電源を連動して制御することは、当業者が容易に想到し得たことである。また、どのような順序で連動させるかは、設計的事項に過ぎない。

また、ディスプレイ装置において、一定時間入力がない場合に、エラーメッセージを表示することや、電源をオフにすることは、例えば、引用文献3の0035、0037段落等に記載のように周知技術に過ぎない。

また、通信を無線で行うことは、当業者が適宜なし得たことである。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開2002-175254号公報
2. 特開平11-212682号公報
3. 特開平7-333571号公報

<拒絶の理由を発見しない請求項>

請求項7、8に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。
拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 I P C H 0 4 N 7 / 1 4 - 7 / 1 7 3
 G 0 6 F 1 / 2 6 - 1 / 3 2
 G 0 9 G 1 / 0 0 - 5 / 4 2

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第四部 映像機器 坂東 大五郎

T E L . 0 3 (3 5 8 1) 1 1 0 1 内線 3 5 8 1

F A X . 0 3 (3 5 0 1) 0 7 1 5